

平成 27 年度自己点検評価（項目別）

横浜国際福祉専門学校

1. 学校の教育目標

本校学則第 1 条に掲げる「社会福祉に関する専門知識並びに技術を習得させ、職業若しくは实际生活に必要な能力と一般教養の向上を図り、国際的視野を有する人材の育成を目的とする。」に基づき中長期的、また単年度計画の下、目標を定める。

2. 本年度に定めた重点的に取組み目標及び計画

- 1) 介護福祉学科及び公共職業訓練コースの指導体制の向上
- 2) 附帯教育事業等の整備と実施
- 3) 地域の高齢者施設との連携の強化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1
・様々な世代また外国籍の者が学べる学校を目指した将来構想の構築	4	3	2	1
・学生や保護者との情報共有手段の構築	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・学校の理念、目的、育成人材像等について学生、保護者から問い合わせ等はないが、内容の理解確認が必要である。
- ・情報共有手段の構築が不十分である。

2) 今後の改善方策

- ・学校の理念、目的、育成人材等について学生には新入生オリエンテーションやクラスミーティングの際に更に周知し、理解度を確認する。保護者には、インターネット等を活用し周知に万全をつくる。

3) 特記事項

特になし

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
・中長期的視野に立って、時代のニーズに合わせた運営方針の修正	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・時代のニーズを充分にとらえきれておらず広報活動に活かされていない。

2) 今後の改善方策

- ・情報を収集、分析し把握に努めていく。

3) 特記事項

特になし

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成一実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成一見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力・育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野事業者等と協働し、カリキュラムを一層充実させる	4	3	2	1
・外部関係者による評価体制の充実	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・関連団体の研修会・講習会等に積極的に参加し専門性の向上をさせているが、教職員全員での研修・講習会の開催を定期的実施する必要がある。

2) 今後の改善方策

- ・外部講師を招き、定期的職員全体での研修・講習会を開催し、教職員の向上を図っていきたい。

3) 特記事項

特になし

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1
・留年生に対する個別プログラムの作成	4	3	2	1
・卒業生との関係づくり（同窓会組織の検討）	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・留年生および基礎学力不振の学生への指導体制を見直す必要がある。
- ・卒業生に対するフォローアップ体制の整備の充実。

2) 今後の改善方策

- ・留年生・基礎学力不振の学生については、個別指導（放課後の勉強会等）を充実させ、学習の能力の向上につとめる。さらに保護者との連携を密にとり、学修の向上に力をいれていく。
- ・同窓会組織作りの強化、SNS等の活用を検討し、卒業後の活躍の把握に努めていく。

3) 特記事項

- ・施設・事業所からの求人の問い合わせの際に、卒業生の活躍ならびに高い評価を得ている。
また、実習開催の前の施設との事前打ち合わせの会にて卒業生が実習指導者として出席し、飛躍している様子がわかる。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・社会人に配慮した制度の設置などを検討していく必要がある。
- ・同窓会組織を強化し、卒業生との連携を密にしていく必要がある。

2) 今後の改善方策

- ・同窓会の開催にむけ体制を整備、また実習巡回の際に卒業生の状況を把握し卒業生への支援について検討する。
- ・社会人を対象とした公的機関の給付金制度の紹介や情報を提供積極的に行う。

3) 特記事項

- ・平日の朝、十日市場駅から当校までのスクールバスを運行。学生から高い評価を得ている。
- ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の一環として地元の中学校から依頼を受け、体験学習を開催している。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
・施設・設備の点検の強化、必要物品の購入	4	3	2	1
・防災訓練、災害時に備えての周知徹底	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・施設・設備の老朽化の修繕がさらに必要

2) 今後の改善方策

- ・修繕箇所を再確認し、優先順位をつけて実施する。
- ・施設・保守のメンテナンスをさらに強化し安全に努める。

3) 特記事項

- ・毎年避難訓練を実施しているが、さらに学生に防火・防災の知識を深める必要がある。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・広報活動の強化	4	3	2	1
・学生募集時のきめ細かい説明	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・18歳人口の減少ならびに全国的に介護福祉分野への進学希望者の減少をたどる中、当校でも学生募集が非常に厳しい状況である。また、再就職の雇用状態の向上により社会人の入学希望者も減少してきている。

2) 今後の改善方策

- ・体験入学の内容を見直し（在校生、卒業生の活用）充実させるとともに効果的な広報媒体を使用していく。
- ・社会人を対象とした公的機関の給付制度を紹介し学生確保に努める。

3) 特記事項

- ・経済的理由により学納金の納入が困難の学生には、納付方法や納付時期について柔軟に対応している。
- ・平成29年度学生募集停止を決定

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・入学者の確保がより重要であり、これまで以上に取り組む必要がある。

2) 今後の改善方策

- ・財務基盤の安定を図るため学生数の確保を最優先課題とし、附帯教育事業の推進を行う。

3) 特記事項

特になし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
一法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
一個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1
・自己点検評価・学校関係者評価等の公表	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・個人情報の取り扱いについては、慎重におこなっているが引き続き徹底していくことが必要である。

2) 今後の改善方策

- ・個人情報に関する情報の周知を今後行う。

3) 特記事項

特になし

(10) 社会貢献・地域振興

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1
・ボランティアの魅力を伝えていく	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・ボランティア活動を推奨しているが、積極的な参加が残念ながらみられない。

2) 今後の改善方策

- ・ボランティア活動を促す方法を工夫していく。
- ・毎年、職業訓練生を一定数受け入れることができている。

3) 特記事項

- ・地域の中学校で実施している福祉教育に貢献している。更に地域貢献、社会貢献に努めたい。

(11) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生等の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1
・留学生等の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・留学生等の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・学習成果が学校内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

注) 留学生等：外国からの直接留学生に限らず、国内で学習する外国人

1) 改善点（課題）

- ・日本語学校卒業後の留学生の受け入れ体制及び学習面、生活面でのサポート体制を構築する必要がある。

2) 今後の改善方策

- ・学科担当教員に加え、日本語担当の教員を配置し、学習面及び生活面についてサポート体制をつくる。

3) 特記事項

- ・平成28年度介護福祉介護福祉学科では、留学生を受け入れた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

横浜国際福祉専門学校では、平成24年度から学校内に「自己点検・評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価をおこなっている。

評価項目については、文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」を準用し実施。

については、平成27年度の評価結果を下記のとおり報告いたします。

1 介護福祉学科及び公共職業訓練コースともに開講し、始業することができた。様々な年齢層の学生が在籍するため、学生一人ひとりにきめ細やかな指導な指導を徹底した結果、良好な人間関係を構築することができた。

2 以下の附帯教育事業等を計画通り実施し、所望の成果を得た。

(1) 社会福祉士短期養成科 (2) 適応自立支援コース (3) 介護福祉士実務者研修(通信課程) (4) 介護技術講習会 (5) 介護職員初任者研修(通信課程) (6) 介護福祉士実習指導者講習会 (7) 介護福祉士国家試験受験対策講座 (9) EPA介護福祉士国家試験対策(民間施設・横浜市・神奈川県からの委託事業) 特に(9)のEPA介護福祉士国家試験対策では、委託元から高い評価を得ており、EPA候補生を受け入れている施設からの問い合わせが増えてきている。

3 地域の高齢者施設からの委託事業

実務者養成研修、介護職員初任者研修、介護実習指導者講習会等の附帯教育にて地域福祉施設の職員の研修に貢献することができているが、地域交流ならびに施設との連携が不十分である。学校としての責務を果たすため今後も積極的に行動することが求められる。